

置換液 6L における ON-LINE-HDF の効果

医) 宝池会 吉川内科小児科病院 ME 部

○松下雄太 兼田浩一 加藤秀美 十萬景子 藤井茂人 矢野晃司 野口あやこ  
村石州啓

同内科 大前清嗣 箕輪久 吉川昌男

【目的】血液透析（以下 HD）から前希釈 ON-LINE-HDF（以下 OHDF）に変更した以後 3 ヶ月間の短期的効果を調べた。

【対象】強い愁訴のない外来慢性維持透析患者 62 名。平均透析歴 9.58 年±10.3

【方法】①HD から OHDF に変更し、7 月～9 月の 3 か月間を昨年同時期の HD 時と下記項目の前値について比較した。使用透析液：キンダリー-3E 号 ブドウ糖 150ml/dl 含有

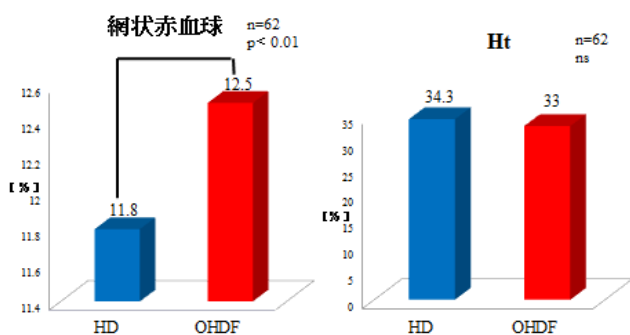
UN、Cr、IP、Ht、網状赤血球数、平均赤血球容積、血清鉄、フェリチン、エリスロポエチン使用量

②OHDF 開始 3 カ月後に聞き取り調査を行った。

③糖尿病を合併する患者 11 名（以下 DM）の HbA1c（NGSP 値）、UN の前値の変化を調べた。また、ドライウェイト変化についても調べた。

【結果】結果①を以下の図 1～5 に示す。

結果① 各血液データでの比較



結果① 各血液データでの比較

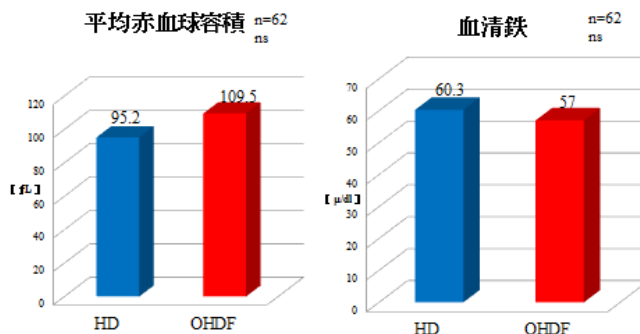
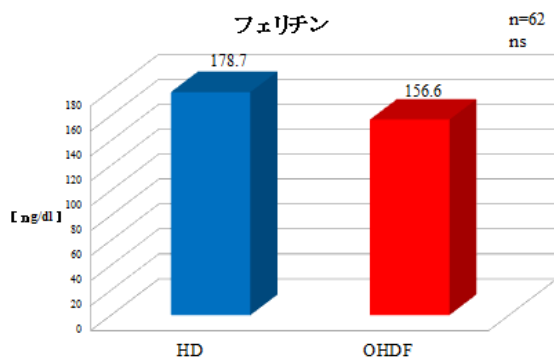


図 1,2 各血液データでの比較

結果① 各血液データでの比較



結果① 各血液データでの比較

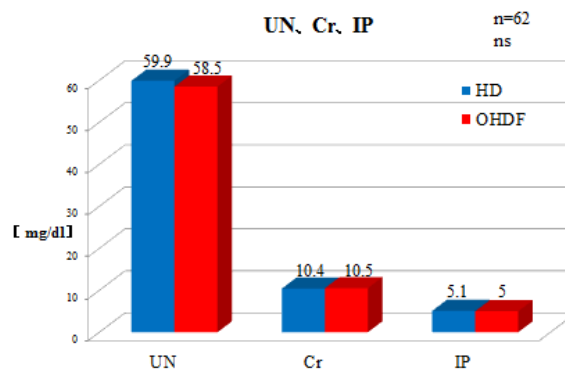


図 3,4 各血液データでの比較

## 結果① エリスロポエチン使用量

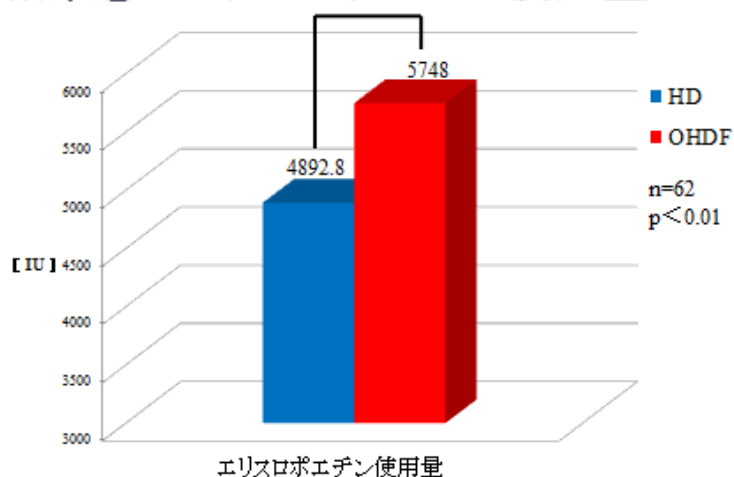


図5 エリスロポエチン使用量

結果②を表1に示す。

表1 聞き取り調査結果

症状	良くなった
関節の可動	3名
皮膚掻痒	15名
食欲増進	2名
いらいら感、不眠	6名
透析後のだるさ・疲労	7名
合計	33名

結果③を以下の図6、7に示す。

## 結果③ DM患者での比較

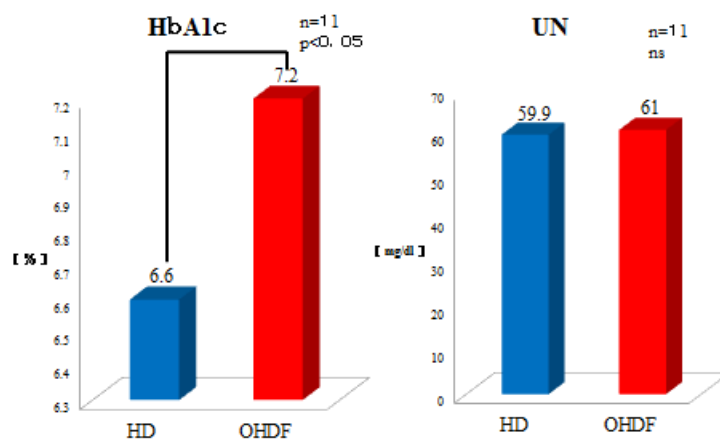


図6 DM患者での各項目の比較

### 結果③ 2011～2012同時期のDW変化

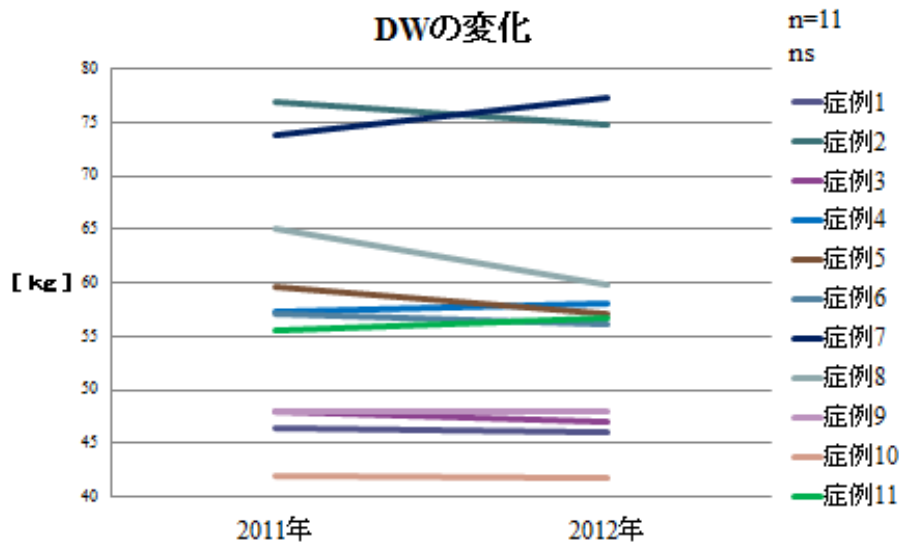


図7 対象 DM 患者のドライウエイト変化

- 【考察】①OHDF時にエリスロポエチン使用量が増加した原因については、東日本大震災による影響でいつでも離脱できるように、治療開始直後にエリスロポエチン製剤を投与しており、OHDFによってエリスロポエチンが除去された可能性が考えられた。
- ②OHDF時に網状赤血球の増加がみられたが、Htの上昇にはつながらなかった。これは、調査期間が3か月と短かったため、今後はHtが上昇してくることが推察された。
- ③DM患者において、OHDF時にHbA1cが有意な上昇を認めたことは、体重に変動がないことから過食による上昇とは考えられず、DM患者の置換液には糖の含有量及び量を考慮する必要があると考えられた。
- ④少量置換OHDFにより軽度の掻痒感・透析後の倦怠感などの症状改善が認められ、少量置換OHDFを行うことで長期的合併症が抑制される可能性が考えられた。
- 【結語】 早期から少量置換のOHDFを行うことにより尿毒症や血液浄化法に伴う様々な症状の出現を防止または軽減させる可能性が示唆された。